

The Marian

Kyoto Notre Dame University



2026.05
vol. 56

京都ノートルダム女子大学 同窓会 会報



- 01 目次
- 02 会長ご挨拶
本部役員・本部役員候補・準役員
- 03 ご挨拶 (前学長・学長・同窓会顧問)
- 04 母校の学生募集停止について
- 05 2025年度 (令和7年度) 活動報告
第61回 同窓会総会・大学主催ホームカミングデー
- 06 2024年度 (令和6年度)
2025年度 (令和7年度) 本部会計報告
- 07 国際交流マリアン奨学基金の報告とご協力のお願い
奨学金授与式・留学生ツアー
- 08 ボランティア基金の報告とご協力のお願い
寄付先・チャリティーバザー
- 09 シスター セリーン 松本
同窓生からのお便り
- 10 同窓生からのお便り
- 11 同期会の報告
同期会開催補助について
- 12 支部だより (関東支部・中部支部)
地区だより (北海道・東北・北陸地区)
- 13 地区だより (和歌山・山陽・山陰・四国・九州 沖縄地区)
支部・地区同窓会開催の補助について
- 14 アクティビティーのご案内
- 15 2026年度 (令和8年度)
同窓会館マリアンハウス 文化プログラムのご案内
日本文化研究会 お世話役募集
- 16 2026年度 (令和8年) 第62回 同窓会総会のご案内
同窓会活動情報は同窓会ホームページで!
物故者追悼ミサのご案内
編集後記

ご挨拶



会長

北谷 貴代子 (23C)

皆さま

日頃は同窓会活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

2025年度は、私達同窓生にとり、悲しみ・憤り・悔しさの中で始まりました。その中で役員会・歴代会長会・合同委員会・同窓会総会にて対話を重ね、総会での対話部分を文書にして同窓会全会員に送付、その上で、個々の同窓生の意見や質問を募集いたしました。それをまとめ、理事会に対話を申し出、その報告文書を希望者に送付いたしました。同窓生の皆さまからは、慎重に考えてくださったとお見受けするご意見やご質問を賜り、一連の流れを静かに見守って下さいましたことを心より御礼申し上げます。同窓生の皆さまは、私達同窓会本部を尊重していただき、対話し、共感していただき、静かに見守るという行動をとってくださった、すなわち「建学の精神」を、身をもって示してくださったのだと思いました。ありがとうございました。

この私達の「建学の精神」をわかりやすい動詞に表したミッションコミットメント「尊重する」「対話する」「共感する」「行動する」は、本当にすばらしく、これを持って何事も、順番に丁寧に行えば、今起こっている世界中のおかしなことは全て起こらなかったのではないかと思うほどです。この「建学の精神」を発信するノートルダムの使命はまだまだこの世の中に必要とされている、と思います。

歴代会長様方からは、学生募集停止発表当時から、なんとか同窓会活動を存続できないかとのお話を頂戴いたしております。

た。当時は、まだまだ目の前の対処に翻弄され、なかなかそこまで想像することができませんでしたが、熱いお言葉は胸に残っておりました。そして同窓生や在学生とお話しするうちに、「なにかあった時に帰ることのできる居心地の良い場所」が必要であると思いました。状況をしっかり見ながら、同窓会活動を続ける方法を模索して参る所存です。それが私達の「建学の精神」を守り、繋げていくことになると思います。どうか今後も、尚一層のご指導・ご協力を宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、この度ご退任されました、前中村久美学長には、長年に渡って、ご指導を賜り、同窓会に寄り添って下さいましたことを心より御礼申し上げます。初めてお話させていただいた日から10年以上の月日が経ちました。その日、なんと同窓生を尊重して下さる方だろうと思いました。それからずっと、お心細やかに同窓会と共に、悲しみ、怒り、そして喜んで下さいました。支部や地区の同窓会にもずいぶんご一緒ください、どの地においても懸命に母校についてお話ください、同窓生の話に熱心に耳を傾けて下さいました。心から尊敬し、心から応援させていただける学長に会わせていただきましたことは、同窓会会長といたしまして本当に幸せな事でした。本当にありがとうございました。

2024～2025年度 本部役員

会長	北谷貴代子 23C (堀部)	書記	中西由理 15E (寿栄松)
副会長	堀野倫子 22E (中村)		勝見優子 26E (平良)
	道本美月 22E (松本)	庶務(会報担当)	北村孝子 7E (山本)
会計	高田さち子 19E (黒澤)		山田多恵 24E (中村)
	出口真紀 34C (森川)	会計監査	岡本承子 24E

準役員(マリアンスタッフ)

代表	宮本としか 23E (渡辺)	会計	矢木高子 23C (磯部)
		バザー担当	瀧井優子 23C (藤井)
	北村孝子 7E (山本)		北谷貴代子 23C (堀部)
	小西真子 23E (武田)		坂本貴美子 25C (中川)
	北村香代子 23E (斎藤)		今井友美 27C (柏谷)
	本郷智子 23E (藤田)		服部雅美 30E (村上)

2026～2027年度 本部役員候補

会長	北谷貴代子 23C (堀部)	書記	小郷里美 23E (松浦)
副会長	北村孝子 7E (山本)		勝見優子 26E (平良)
	堀野倫子 22E (中村)	庶務(会報担当)	山田多恵 24E (中村)
会計	高田さち子 19E (黒澤)		未定
	出口真紀 34C (森川)	会計監査	岡本承子 24E

左記が、2026年度・2027年度同窓会本部役員候補です。2026年度 同窓会総会にて、ご承認をお願いいたします。

※ 同窓会総会をご欠席の方は、総会出欠返信フォームまたは総会出欠返信ハガキにて、「本総会の全ての議案について、総会議決に関する権限を会長に委任する・または委任しない」の選択をお願いいたします。

2026年度 同窓会総会・・・裏表紙参照



前同窓会名誉顧問
前学長

中村 久美



同窓会名誉顧問
学長

酒井久美子

皆様、如何お過ごしでしょうか？

これを書いている今の私には、本拙文が世に出る5月の自分をなかなか想像できません。6年と71日、代行期間を含めると6年5ヶ月という異例の学長職でした。

その前半はコロナ禍対策に、後半は大学存亡危機対応に忙殺され、追い立てられるような日々でした。振り返ればその間、同窓会の皆様には終始一貫して、大学を支えていただいていたとしみじみ思います。創立60周年の記念にお贈りいただいたマリアン monumento、コロナ禍の学生への経済支援、留学生への細やかなお気遣い、さらには学生の様々な活動への熱い応援や、大学広報へのご協力など。しかし、その数々のご支援に報いることができませんでした。10年時計を巻き戻せたらと何度思ったことか知れません。全学を率いて学生募集の活性化に悪戦苦闘するも、手遅れ感は否めませんでした。本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

マリアンハウスがどうなるか？ monumentは？

心残りたくさんありますが、今後は大阪から見守っていきたいと思います。皆様もどうぞお健やかに。そしてそれぞれにご活躍いただくことで、母校「ノートルダム」の名を社会に刻み続けてください。



同窓会顧問
社会情報学環 学環長・教授

吉田 智子

2025年度からの同窓会顧問、吉田智子（20期生、旧姓永山）です。まずはこの一年を、同窓会顧問という立場であったことで、同窓生の皆様と共に歩むことができたことに感謝しています。おかげさまで、本学の良さである一人ひとりの学生に向き合ったきめ細やかな教育活動に邁進できています。

またこの一年、同窓会の行事にも積極的に参加しました。その中でも特に記憶に残っているのは、本学のホームカミングデー企画として、同窓生の方々と手をつないで学歌（College Song）を歌ったことです。2025年秋の大学祭（ND祭）でのことで、マリア様と六角形の噴水のある中庭に設置された「野外ステージ」の上で、しっかりとつないだ手を振りながら力強く歌いました。

同窓会の皆様、平素は母校の教育・研究活動に温かいご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度より学長を拝命いたしました酒井久美子と申します。私は本学の卒業生（21期生、英語英文学科卒業、旧姓脇野）です。振り返ると、卒業した翌年に英語英文学科研究室に勤めてから、40年の歳月が流れていました。その間、専門分野を英語から福祉に広げ、2005年から現在の現代人間学部生活環境学科で地域福祉を専門として授業を担当しております。

卒業生でもある教員の一人として、昨年決定された募集停止という事態は大変衝撃的なものでした。その時期に、歴史と伝統を受け継ぐ本学の歩みに携わることとなり、身の引き締まる思いとともに、言葉では表せない覚悟しております。私自身どのようなことに取り組むことができるのかを思案し、辿り着いた答えは、対話の大切さです。本学のミッションコミットメントである「尊ぶ、対話する、共感する、行動する」を体現し、学生、教職員、同窓会、その他関係者の皆様と相互に尊重し合い、対等の関係で対話することを大切にし、さらに充実した大学となるよう尽力しようと決意しました。

本学が今日まで発展してまいりましたのは、同窓生の皆様が、母校を支え、見守ってくださっているおかげです。今後も建学の精神を大切にし、学生一人ひとりが自分の可能性に挑み、互いに学び合いながら成長できる大学であり続けたいと考えております。そして、皆様にとって母校がいつまでも心の拠り所となるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

今度とも変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この様子はインターネット回線で遠方の同窓生にも配信されました。

そして、2026年6月14日（日）の同窓会総会は、この大学のキャンパスで実施されます。建て替えられた新しい校舎もありますが、創立時から変わらず私たちを見守ってくださっているマリア様や図書館で守られてきた蔵書は変わっていません。自慢のキャンパスにお迎えできることを楽しみにしています。

2026年度も本学の教職員は学生が安心して満足できる大学生活を送り続けられるよう、前を向いてコツコツと頑張っていきますので、同窓会の皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

母校の学生募集停止について

2025年4月25日、母校の「次年度以降学生募集停止」が発表されました。それを受けて同窓会本部が役員会で決定し、行ったことをご報告いたします。

2025年

4月25日

「重要なお知らせ」として以下を同窓会ホームページに掲載

- ・同窓生の今すべきことは、正しい情報を得て、しっかり、そして静かに母校を尊重し見守ることである。
 - ・正しい情報は大学公式ホームページを見てほしい。
 - ・次回総会（同年5月）にて、学長からの説明がある。
- <今後の同窓会活動について>
- ・今まで通りに行う。
 - ・何か変更があった場合は、ホームページ上で伝える。

※発表後、数日間は同窓会館マリアンハウスを開放し、役員が常駐いたしました。同窓生が訪問され、当件について語り合う時間を持つことができました。

5月14日

「歴代会長会」

（歴代会長・本部役員・準本部役員）

- ・これから先について、同窓会の主な収入源である新入会員の終身会費がどれだけ見込めるかが不明なため、今まで通りの同窓会活動を続けるための費用は、預貯金から使用することを承認。
- ・午後から中村久美学長、吉田智子同窓会顧問を交え、「学長より説明および質疑応答」を行った。

5月25日

「第61回同窓会総会」

会長よりこれまでの経緯等の説明・学長より説明及び質疑応答

※内容については、7月9日 同窓会会員宛てに郵送した【臨時会報】に掲載した通りです。【臨時会報】には、「2026年度以降の学生募集停止についての大学からの文書」「第61回同窓会総会において2026年度以降の学生募集停止に関する部分の議事録」を掲載しております。

6月16日

「重要なお知らせII」として以下をホームページに掲載

- ・経営主体である理事会への質問・意見・提案を募集。同窓会本部がとりまとめ、理事長に伝える。後日、回答を報告する。

7月14日

「重要なお知らせIII」として以下をホームページに掲載

- ・7月9日に、会員宛てに【臨時会報】を発送した。
- ・【臨時会報】を、よくお読みいただき、その上でまだまだ納得いかないと思われる方は、“重要なお知らせII”にある「経営主体である理事会への質問・意見・提案など送信フォーム」を使用して申し出てほしい。同窓会本部はそれをとりまとめ、理事長に持っていく。回答は会員に報告する。但し途中経過は非公開とする。

7月23日

「合同委員会」

（吉田智子同窓会顧問・歴代会長・学年委員・アクティビティー代表者・本部役員・本部準役員）

- ・北山の地を残してほしいこと
- ・他の2校を守るためにも、今回の募集停止の責任の所在を明らかにしてほしい。

以上の2点と、同窓生から募集した、理事会への質問・意見・提案を同窓会本部がとりまとめ、理事会に申し入れることで意見が一致した。

決して攻撃ではなく、対話を求める。申し入れる文書について、名誉棄損にならないか、また、必ず回答を得られるように等、弁護士から専門知識に基づく適切なアドバイスを得る。

また、

- ・母校閉学後も、同窓会活動を存続できるよう模索していく。
- ・中村学長の学長続投を望む。規程を超えて立候補できるよう要望すること。で意見が一致した。

8月27日

「重要なお知らせIV」として以下をホームページに掲載

- ・2025年度同窓会活動の原資は、2024年度本部会計の繰越金（預貯金）とする。同窓会活動は、毎年、4回生より自動徴収する同窓会終身会費を、主な財源としているが、この度の大学募集停止の発表により、同窓会入会を任意とする。よって終身会費収入金額の予測がつかず、本年度予算の終身会費収入は0円とする。
- 以上は、2025年5月14日の役員会で決定し、同日の歴代会長会にて承認を得、総会で報告した、旨も併せて掲載した。

9月1日

「理事会との対話」

- ・会員からの意見をとりまとめ、本部役員代表4名が、和田 環理事長、理事2名と2時間に渡り面談。大学 学生募集停止について、「これまで」と「これから」の質問・意見・提案を伝えた。

10月1日

「重要なお知らせV」として以下をホームページに掲載

- ・上記9月1日に面談を終えたことの報告

10月15日

「重要なお知らせVI」として以下をホームページに掲載

- ・9月1日理事会との面談内容は、希望される同窓生に個々に開示する。

<請求方法…メール>

同窓会館マリアンハウス宛てに、

件名を「理事会との対話の開示希望」とし、

- ① 氏名（現姓・旧姓）
 - ② 期（または卒業年）
 - ③ 卒業学部学科（院生の場合は、専攻された分野）
- を明記しお送りください。（現在もご請求いただけます）

以上で、同窓会本部としての、この件への対応は、一旦区切りとさせていただきます。これからは、まだまだ進化する母校の応援と、同窓会活動存続への模索、へと舵を切り進んで参ります。

令和7年度(2025年度)活動報告

- 4月 ・各アクティビティー春季開講
・2025年度大学入学式列席
- 5月 ・歴代会長会議開催
・第61回同窓会総会開催
・各支部・地区委員との合同ミーティング
・国際交流マリアン奨学基金より留学生に奨学金授与
・ボランティア基金よりネパールノートルダム校支援金贈呈
- 6月 ・山陽地区同窓会開催
・北陸地区同窓会開催
・北海道地区同窓会開催
- 7月 ・合同委員会(歴代会長、学年委員、アクティビティー責任者、本部役員準役員の顔合わせ)
・小学校、中学高等学校、大学3校合同委員会出席(当番校)
※「元気が出る介護術」
- 8月 ・同窓会館マリアンハウス夏休みの為閉館
- 9月 ・同窓会代表と理事長・理事会の代表との面談
・各アクティビティー秋季開講
※「刺しゅうで楽しむクリスマス」

- 10月 ・「留学生ツアー」開催
・「マリアンハウスチャリティーバザー」
・「ホームカミングデー」同日開催
・山陰地区同窓会開催
・中部支部同窓会開催
- 11月 ・大学物故者追悼ミサ参列
※「クリスマス スワッグ」
- 12月 ・ノートルダムクリスマス参加
- 1月 ・各アクティビティー冬季開講
- 2月 ・2025年度女学院高等学校卒業式列席
- 3月 ・2025年度大学卒業式列席
・2025年度小学校卒業式列席

※はマリアンハウス文化プログラム

また、同窓会より評議員を1名選出し、法人評議員会に年に数回出席しております。

2025年5月25日

第61回 同窓会総会



5月25日、ザ・プリンス宝ヶ池に於いて第61回同窓会総会を行い、1期～61期まで幅広い年代の同窓生約90名が集まりました。

今回は、2026年度入学者募集停止の発表について、学長の説明と質疑応答の時間を設けました。

学歌斉唱、帰天者のための祈り、会長挨拶に続き議事が行われ、議案はすべて承認されました。

理事長の乾杯挨拶の後、今年のテーマ、「絆～深めよう!繋がり」に相応しく、同窓生同士の懇談、「大学の今」や「ネパールND」の軌跡を紹介し、会食をしながら繋がりを深めました。

続いて各支部・地区の活動報告、同窓生ソング「友よ!」の合唱、記念撮影を行いました。

<議案承認内容>

同窓会規約の変更
第4章

第1条 総会開催月を5月から6月に変更することになりました。

第2条 今まで、予算及び決算について、総会での承認が必要でしたが、役員会で承認し、会員の皆さまへは、総会と会報での報告となりました。

よって、本会報には、2024年度総会承認分・2025年度役員会承認分の2年度分の会計報告を掲載しております。



※なお、同窓会規約は、
同窓会ホームページ上でご覧いただけます。

2025年10月26日

大学主催 ホームカミングデー

「繋がりが
持続可能でありますように!」
と、願いを込めて!



ND祭・マリアンハウスチャリティーバザー同日、大学主催「ホームカミングデー」が行われました。

今年は100名を超える同窓生が来場し、大学より学生模擬店のチケットをいただき、若い後輩たちとの交わりも楽しく過ごさせていただきました。バザー終了後には、中庭のステージに上がり、東朝子先生の指揮により、会場の皆さまやLINEビデオ電話にて各地の同窓生と共に、「学歌」と「同窓会ソング 友よ!」を合唱いたしました。

学歌は、2度斉唱し、2度めは皆で手を繋ぎ、感動の大合唱となりました。大学の皆さまには、企画の段階から同窓会の想いを汲んでいただき、当日は大きな感動を分かち合えましたこと、本当にありがとうございました。

最高のホームカミングデーでした。



当日の学歌斉唱をお聴きいただけます。

本部会計報告

2024年度(令和6年度)京都ノートルダム女子大学同窓会 収支報告書

2024年度 本部会計収支報告書
2024年4月1日より2025年3月31日 (単位:円)

収入		支出		予算
前年度より繰越金	42,846,578	総会費*	914,729	800,000
終身会費(大学徴収分)	6,870,000	クラスアクティビティー費	570,000	600,000
終身会費(院生・留学生)	120,000	会報関係費	76,623	500,000
クラスアクティビティー受講料	275,500	会議費	166,090	250,000
マリアンハウス使用料	34,000	交際費	211,858	300,000
イベント企画運営収入	6,903	支部地区補助費	391,160	500,000
同窓会活動への寄付	170,422	HP管理費	140,000	100,000
利息	8,982	消耗品費	99,256	150,000
マリアンスカラシップ返還金	0	通信費	158,602	180,000
関東支部前年度活動費残金	0	光熱費	137,440	150,000
中部支部前年度活動費残金	110,754	設備費	542,627	400,000
「最善の贈り物」売上	4,500	管理費	862,440	1,200,000
マリアン奨学金寄付より返金(留学生ツアー保険代)	1,000	雑費・振込手数料	7,260	20,000
3期同期会残金寄付	16,100	同期会補助費	171,141	80,000
		イベント企画運営費	114,675	650,000
		マリアンスカラシップ給付金	200,000	840,000
		卒業記念品費	367,287	260,000
		在校生文化プログラム参加補助費	9,900	20,000
		予備費(即座金庫納印願代・個人情報管理規程文書作成料)	26,367	100,000
		学生獲得のための活動費	381,873	1,000,000
当期収入合計	7,618,161	当期支出合計	5,549,328	8,100,000
収入合計	50,464,739	次年度繰越金	44,915,411	
		支出合計	50,464,739	

2025年度(令和7年度) 本部会計予算案 (単位:円)

収入	予算	支出	予算
前年度より繰越金	44,915,411	総会費	500,000
終身会費(大学徴収分)	0	アクティビティー費	570,000
終身会費(院生・留学生)	0	会報関係費	500,000
クラスアクティビティー受講料	275,500	会議費	200,000
マリアンハウス使用料	30,000	交際費	300,000
同窓会活動への寄付	170,000	支部・地区補助費	600,000
関東支部前年度活動費残金	0	HP管理費	100,000
中部支部前年度活動費残金	23,262	消耗品費	100,000
		通信費	120,000
		光熱費	150,000
		設備費	300,000
		管理費	1,000,000
		雑費・振込手数料	10,000
		同期会補助費	300,000
		イベント企画運営費	150,000
		マリアンスカラシップ給付金	840,000
		卒業記念品費	200,000
		在校生文化プログラム参加補助費	100,000
		予備費	100,000
合計	45,414,173	小計	6,040,000
		次年度繰越金	39,374,173
		合計	45,414,173

↑ 総会費内訳

898,399	第60回総会費
730	第60回総会配布チラシ印刷費
6,800	第61回総会出欠ハガキ代
8,800	第61回総会案内状送付代
計 914,729	

上記の通りご報告申し上げます。

2025年3月31日

会計 高田 さち子

会計 出口 真紀

監査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

会計監査 岡本 承子

2025年度 第 61 回 同窓会総会で承認されました。

2025年度(令和7年度)京都ノートルダム女子大学同窓会 収支報告書

2025年度 本部会計収支報告書
2025年4月1日より2026年3月31日 (単位:円)

収入		支出		予算
前年度より繰越金	44,915,411	総会費	375,881	500,000
終身会費(大学徴収分)	5,640,000	クラスアクティビティー費	550,000	570,000
終身会費(院生・留学生)	0	会報関係費	1,902,272	500,000
クラスアクティビティー受講料	314,000	会議費	173,750	200,000
マリアンハウス使用料	89,000	交際費	404,247	300,000
イベント企画運営収入	2,617	支部地区補助費	389,200	600,000
同窓会活動への寄付	150,000	HP管理費	0	100,000
利息	46,338	消耗品費	101,098	100,000
マリアンスカラシップ返還金	298,500	通信費	155,011	120,000
関東支部前年度活動費残金	0	光熱費	164,497	150,000
中部支部前年度活動費残金	23,262	設備費	10,550	300,000
グッズ売上*	60,750	管理費	833,540	1,000,000
臨時会報誌発行関連折半(大学より)	680,635	雑費・振込手数料	4,455	10,000
		同期会補助費	0	300,000
		イベント企画運営費	216,915	150,000
		マリアンスカラシップ給付金	200,000	840,000
		卒業記念品費	243,547	200,000
		在校生文化プログラム参加補助費	9,900	100,000
		予備費	0	100,000
		グッズ仕入費*	166,600	
		弁護士相談料	22,000	
当期収入合計	7,305,102	当期支出合計	5,923,463	6,040,000
収入合計	52,220,513	次年度繰越金	46,297,050	
		支出合計	52,220,513	

*非常利

2026年度(令和8年度) 本部会計予算 (単位:円)

収入	予算	支出	予算
前年度より繰越金	46,297,050	総会費	500,000
終身会費(大学徴収分)	0	アクティビティー費	630,000
終身会費(院生・留学生)	0	会報関係費	170,000
クラスアクティビティー受講料	300,000	会議費	130,000
マリアンハウス使用料	90,000	交際費	150,000
関東支部前年度残金	0	支部・地区補助費	470,000
中部支部前年度残金	13,513	HP管理費	150,000
マリアンハウス利用料(前年度収益金より補填)	358,335	消耗品費	150,000
		通信費	170,000
		光熱費	100,000
		設備費	900,000
		管理費	5,000
		雑費・振込手数料	300,000
		同期会補助費	650,000
		イベント企画運営費	840,000
		マリアンスカラシップ給付金	200,000
		卒業記念品費	100,000
		在校生文化プログラム参加補助費	100,000
		予備費	100,000
小計	761,848	小計	5,715,000
合計	47,058,898	次年度繰越金	41,343,898
		合計	47,058,898

上記の通り、ご報告申し上げます。

2026年3月31日

会計 高田 さち子

会計 出口 真紀

監査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

2026年4月5日

会計監査 岡本 承子

本報告を役員会で精査し、承認いたしました。

2026年4月8日

会長 北谷 貴代子

国際交流マリアン奨学基金の報告とご協力をお願い

2024年度（令和6年）収支報告書

2025年度（令和7年）収支報告書

国際交流マリアン奨学基金		(単位:円)	
	収入	支出	
前年度繰越金	1,781,257		
本年度寄付金	189,848		
利息	233		
留学生ツアー参加費徴収分	8,320		
留学生ツアー本部補助金	0		
留学生への奨学金		120,000	
留学生ツアー保険代(令和5年度分)		1,000	
留学生ツアー一代		49,728	
振込手数料		100	
当期小計	198,401	170,828	
次年度繰越金		1,808,830	
合計	1,979,658	1,979,658	

国際交流マリアン奨学基金		(単位:円)	
	収入	支出	
前年度繰越金	1,808,830		
本年度寄付金	0		
利息	2,261		
留学生ツアー参加費徴収分	12,000		
留学生ツアー本部補助金	0		
留学生ツアー代		65,060	
留学生への奨学金		120,000	
振込手数料		100	
当期小計	14,261	185,160	
次年度繰越金		1,637,931	
合計	1,823,091	1,823,091	

上記の通りご報告申し上げます。 2025年3月31日 会計 高田 さち子
 監査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。 会計 出口 真紀

上記の通り、ご報告申し上げます。 2026年3月31日 会計 高田 さち子
 監査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。 2026年4月5日 会計監査 岡本 承子
 本報告を役員会で精査し、承認いたしました。 2026年4月8日 会長 北谷 貴代子

2025年度 第61 回同窓会総会で承認されました。

- この奨学基金を原資に、ご縁がありノートルダムにやってきた留学生が、将来日本と母国の架け橋となられることを期待し、2つの支援を続けております。
 - ・留学生への奨学金（年間：1名に12万円を授与）
 - ・留学生ツアーの補助金（日本の文化を留学生に体感してもらうための日帰りツアー）

今後、留学生ツアーにおいては、留学生同士の交流にとどまらず、日本人学生や留学生OGとの交流の場にもなるように企画して参ります。

2025年度 奨学金授与式

2025年5月21日マリアンハウスにて奨学金の授与式と茶話会をいたしました。



奨学金授与者
 現代人間学部 心理学科
 2年次生 Dien Ha Giang (ディエン ハ ザン)
 ルーマニア出身

ご協力をお願い

2025年1月1日から12月31日までにお振込みいただいた方々

- ・協力者数 0名
- ・寄付金総額 0円

一口1,000円で、お心のままにお振込みください。

振込先：ゆうちょ銀行 00970-2-305135

名義：京都ノートルダム女子大学同窓会 奨学金

他行からの振込先

振込先：ゆうちょ銀行 当座 ○九九店(ゼロキュウキュウ店)

口座番号：0305135

名義：京都ノートルダム女子大学同窓会 奨学金

2025年度 留学生ツアー

「京都食文化体験2025」

ミャンマーからの1回生3人とタイからの交換留学生(1年間)1人が参加のもと、10月5日(日曜日)留学生ツアーを実施致しました。

東山七条の智積院の大広間で精進料理を頂き、その後智積院内を少し散歩しました。紅葉には少し早かったですが、小雨が降る中、しっとり濡れた緑が心を落ち着かせてくれ、癒しのひとときを過ごすことができました。

智積院から徒歩で5分ほどの「甘春堂」に移動し、和菓子作りを体験しました。そのうちの1つを薄茶と共に頂いて、お茶の点て方、茶道のマナーなどをお教えました。

精進料理や和菓子作り体験、茶道の学びなどを通して様々な日本文化を吸収しようとしている姿に「留学生ツアー」の意義を感じました。

アニメがきっかけで日本に興味を持ち、流暢に日常会話ができるまでになっていることを目の当たりにし、向上心を持つことの大切さを教えられました。



ボランティア基金の報告とご協力をお願い

2024年度(令和6年)収支報告書

ボランティア基金		(単位:円)	
	収入	支出	
前年度繰越金	1,275,717		
マリアンハウスチャリティーバザー収益金	398,472		
総会募金	28,700		
本年度寄付金	-		
ラインクリエイターズスタンプ収益金	1,273		
手作り品売上金	500		
利息	166		
ネパール支援金		100,000	
ラリグランス支援金		50,000	
石川県令和6年度能登豪雨災害義援金		400,000	
岩手県大船渡市災害義援金		100,000	
振込手数料		440	
総会エンターテイメント売上金(売上の2割)	5,280		
当期小計	434,391	650,440	
次年度繰越金		1,059,668	
合計	1,710,108	1,710,108	

上記の通りご報告申し上げます。

2025年3月31日

会計 高田 さち子
会計 出口 真紀

監査の結果、収入支出しずれも適正であることを認めます。

会計監査 岡本 承子

2025年度第61回同窓会総会で承認されました。

2025年度支援報告

- ネパールノートルダム校へ 100,000円

ご報告

シスター アイリーン中村



2025年12月13日にバンディプール校開校40周年の祝いの式典が行われました。学校長、先生方、村の役員方、卒業生たち、村人たちが集まってのお祝いでした。学校長やいろんな方々の挨拶の後、生徒たちの歌や、ダンスなども行われました。お祝いとしておやつが提供され、全校生よるこんで楽しくいただきました。創立40周年を祝うことが出来たのは、皆様の支えと続けて援助してくださっているお陰と感謝しております。

嬉しいことがありました。ダンスに出た7年生の女子生徒の一人が、シスターの所へ来て、「私の踊っているのを見てくださいましたか。」と尋ねました。その子は小さいときにいろりに落ち、膝から下が折れ曲がって、腿にくっついてしまい片方の足でしか立てませんでした。一年生の時、村を訪れていた外国の方が、国に連れて帰り手術を受けさせてくれました。その後は両脚で立つことができるようになり、その後ダンスをすることができ、機会あるごとにダンスをする喜びを見せてくれます。彼女の家庭は貧しく、奨学金を受けて勉強にはげんでいます。

- 同窓会を通じて災害地等への支援をされたい方はこちらへお振込みください。

振込先: ゆうちょ銀行 14400-32143551

名義: 京都ノートルダム女子大学同窓会

他金融機関からの振込先

振込先: ゆうちょ銀行 普通 四四八店(ヨンヨンハチ店)

口座番号: 3214355 名義: 京都ノートルダム女子大学同窓会

2025年度(令和7年)収支報告書

ボランティア基金		(単位:円)	
	収入	支出	
前年度繰越金	1,059,668		
マリアンハウスチャリティーバザー収益金	558,335		
総会募金	21,912		
本年度寄付金	0		
ラインクリエイターズスタンプ収益金	851		
手作り品売上金	0		
利息	1,445		
ネパール支援金		100,000	
振込手数料		110	
当期小計	582,543	100,110	
次年度繰越金		1,542,101	
合計	1,642,211	1,642,211	

上記の通り、ご報告申し上げます。

2026年3月31日

会計 高田 さち子
会計 出口 真紀

監査の結果、収入支出しずれも適正であることを認めます。

2026年4月5日

会計監査 岡本 承子

本報告を役員会で精査し、承認いたしました。

2026年4月8日

会長 北谷 貴代子

チャリティーバザーのお礼とご報告

今年も恒例のチャリティーバザーが10月26日(日)行われました。お天気の悪い中、沢山の方々にご来場いただきました。

今年初めての試みのリサイクル品販売は沢山のお客様で大盛況、マグロ解体ショー・マグロ丼販売では食券販売開始前より列が出来、10分で完売でした。

全国より戴いた寄贈品、マリアン手作り品、物品販売など、今年も盛り沢山の楽しい一日となりました。

また、最後は野外ステージで、先生や同窓生が手を繋ぎ、「学歌」と「友よ」を合唱し、ノートルダムファミリーの絆を感じ、幕を閉じました。

当日の総売り上げは、908,510円、原価を引いた収益は、483,370円となりました。災害地復興のための支援金と、同窓会活動に使わせていただきます。



ご来場いただきました皆様、
又ご協力いただきました全国の皆様へ
心より感謝申し上げます。

バザー当日の様子をご覧いただけます。





シスター セリーン 松本

巷では、政治、経済の紛争が絶えず、自己中心の考えに陥っている中、無力で無防備な人間が苦しんでいます。また、地球温暖化によって、自然界は破壊され、各地で絶え間ない災害が起これ、今、人間は被害者であり、同時に加害者にもなっています。

現今の卒業生の生活様式や考え方は、以前とは違いますが、根底には、何か揺るがないものがあるのです。人を大切に、互いに理解しあい、慰めあい、いたわりあい、助けあい、愛しあうことによって、それぞれが、自分を自由に開花させています。それは、創立当初から存在し、今も尚、変わらず大事にしているノートルダム・スピリットではないでしょうか。

こんな歳になって、わたしが、未だに続けているのは、卒業生と共にするマリアン・ハウスでのグループ活動です。月に3回、運動をかねて、修道院から歩いて出かけます。それぞれのグループでは、互いが友達仲間として、和気あいあいのひと時を過ごします。マリアン・ハウスの管理事務の方をはじめ、みんなの世話になりながら楽しむかけがいのないひと時です。

卒業生、同窓生の皆さん、日頃の雑事を離れて新しい出会いをし、友達と交わるため、グループ・アクティビティに参加されませんか。ご一緒に楽しみましょう。きっと日常生活のうるおいになると思いますよ。どなたでも気軽にきてください。みんなでお待ちしています。

変化といえば、フランシスコ教皇様に代わり、レオ14世教皇様の時代になりました。2025年5月8日、教皇レオ14世が就任されて「あなた方に平和があるように」と、全世界を祝福し、分断を超えた世界の一致、民族や文化、立場の違いに隔てられることなく、神のもとで人類はつながっているのだと、希望のある未来へと歩みだされました。

以前、わたしはフランシスコ教皇様の紋章について述べましたので、レオ14世教皇様の紋章についても説明しましょう。聖母マリアを象徴するユリの花と、アウグスチノ修道会を示す紋章で、マリアのように神の導きに心を開き、アウグスチノ修道会の精神に根ざした一致と交わりを重んじる思いが込められています。そして「唯一のお方の中に、わたしたちは一つ」であるようにと祈りつつ、司牧的使命を果たすのだという決意を示す縄目が土台にある美しい紋章です。

「普遍的な、万人に共通の、偏らない」という、本来の意味をもつcatholic「カトリック」者として、ノートルダムのわたしたちは、これからの毎日を、互いに、愛し、祈りあいながら過ごしたいと思います。



連絡先

〒606-0914 京都市左京区松ヶ崎今海道町11-1
ノートルダム修道院 シスター セリーン 松本
E-mail. c-matsumoto@ssnd.jp ☎ 075-701-6631

09

同窓生からのお便り

広石 万佐子 (林) (13E)

私の学生時代は今のように就活ではなく、卒業後は好きな英語が活かせる職業に就ければというほどの気持ちでおりました。国家資格を取れば将来役に立つかも知れないというくらいの思いで4年生の時に受けた通訳案内業（現・全国通訳案内士）試験に合格したものの、その時点では通訳ガイドの仕事をするという意思は特にありませんでしたが、一応受講した新人研修でお声掛け頂いた旅行会社の方に卒業後間もなくご挨拶に行った日に偶々すぐにガイドを必要とされているお客様が来ておられ、半日の京都市内観光を承ったのが私の通訳ガイドとしてのキャリアの始まりでした。

英語を話すという点では全く問題はありませんでしたが、女学院から大学までずっとアメリカ英語に親しんで参りましたので、英語を母国語としない国から来られた方の訛りのある英語だけでなく、初めの内はイギリス英語の聞き取りにも苦労した程でした。それ以上に戸惑ったのは、仕事を始めるまではあまり旅行をしたこともなく、添乗業務が重要なこの職業が果たして向いているか自問を続けながらも、年間の訪日外国人がまだ100万人を切ってい

る時代でしたので、ゆっくりしたペースで仕事のリズムに慣れていくことが出来ました。

以来、気が付けば英語では今年で何と49年目、後で資格を取ったフランス語でも35年目となり、その間に都度ご案内してきたのは最小単位お一人から40名以上の団体まで、日数は半日から2週間以上まで、訪問先も北は北海道から南は沖縄まで各地に至り、通常の観光だけでなく国公賓を含むVIP接遇や記者の取材旅行、工場見学など様々な形態の仕事に携わせて頂きました。自分でもこれ程長く続けることになろうとは思っていませんでしたが、民間外交官とも言われる職業を通じて多くの外国人の方々に喜んで頂け、また日本をより良く理解して頂くために自分自身がまだまだ知らないことを学んで行くことが原動力になってきたのだと思います。



同窓生からのお便り



関わりによって豊かにされた私の歩み

シスター アイリーン
中村 美帆 (1C)

1962年、大学2回生の時に、3校の母体であるノートルダム教育修道女会に入会し、茶色の制服から白のブラウスと黒のスカートで卒業までの3年間、鹿ヶ谷の修道院より大学に通学しました。修道院での生活と学業の両立は厳しく、宿題はすべて図書室で済ませました。Sセリーンはじめ教職員、同級生には、助けられ励ましを受けました。今でも励ましを受けています。そして1年間の修練期の後、1966年に誓願を立てシスターになりました。

初めての使徒職(仕事)は、三重県四日市に創設された特別支援学校「聖母の家」の指導員でした。そこで、現在は学校法人ノートルダム女学院の理事長であるSモーリン和田が事務長を務め、後に女学院校長を務めたSドロレス石崎とも一緒に働いた事が懐かしく思い出されます。

その1年後から8年間、聖ヨゼフ整肢園の教育部で特殊学級教諭、その後聖マリア養護学校で10年間肢体不自由児の教育に携わりました。その後2年間は岡山のノートルダム清心女子大学に編入して学びの時を持ちました。それに続く2年間は、米国セントルイスにあるセントメリースペシャルスクールで指導員として勤務しました。

約20年間、障害児教育に携わった間、特に障害児の母親との関わりを大切に、気軽に話せる雰囲気づくり心がけました。

その後ネパールに派遣されましたが、出発を待機している間、ND女子大学の図書館でアルバイトをする機会をいただき、職員の

方々には親切にいただき、今でもその交流が続いています。ネパール派遣後は12年間ノートルダムスクールで勤務しました。その間文化の違い、特にカースト制度には驚きました。身分の違いにより同僚の誕生日のお祝いに同席できないことなどを目の当たりにして、何とも言えない気持ちになりました。

帰国してから、ND女学院事務所でアルバイトと寄宿舎での仕事は、後の仕事に役立ちました。ここでの仕事を通じて得た職員や保護者の方々との交流は今でも続いています。

修道会の責任役員を12年間勤め、お年寄りのシスター達との介護の関わりもありました。元ホームルーム担任であったシスターやお世話になったシスター達ともお世話をする立場からの関わりもでき、シスター達の旅立ちに立ち会う恵みもいただきました。

これまでの仕事を通して、その場で関わった人々の助けや支えにより、無事に仕事が果たせたことに感謝です。又、出会いから何十年も経つ今でもその時々に関わりは続いており、人との繋がりや神秘を感じています。

先日、障害児の母親から連絡があり、会いたいとのことで、春になったらお会いするのを楽しみにしています。

これらの体験から学んだことは、どんな時にも、あきらめず忍耐強くやってみること、チャレンジしていくことで困難が切り拓かれるということです。

今年、シスターになってから60年を祝っています。まず神様に感謝、家族と親族、シスター達、そして使徒職で関わった全ての方々に感謝です。今でも続くこれらの絆を宝物として大切にしていきたいとの思いを一層深くしています。



岡田 千明 (中小路) (47P)

幼少期はアメリカで過ごし、自然や人とたくさん関わり、相手や自分の気持ちを大切にすることを学びました。想像力が豊かだったため、言葉で想いを伝えるよりも、絵に描いて表現することが好きな子どもでした。そして、相手や自分の気持ちに注目し、心の動きにつ

いて考えることがよくありました。

大学で心理学を学ぶきっかけになったのは、私の母も京都ノートルダム女子大学の生活文化学科で心理学を学び、心理カウンセラーとして人の心に寄り添う仕事をしていたことでした。私も心理学に関心があり、臨床心理士になるために、母と同じ京都ノートルダム女子大学と大学院で心理学の勉強に励みました。

大学では、学生が少人数でしたが、先生と学生の距離が近く、専門的なことを丁寧に指導していただき、わからないことも相談しやすく、たくさん学ばせていただきました。またデンマークでの研修

旅行では、福祉・教育・医療について先進的な取り組みをされており、専門的な勉強の参考になりました。大学院に進学してからは、論文の作成や、心理カウンセリングの技法を勉強しました。臨床心理学という学問の難しさに心が折れ、落ち込む日々もたくさんありましたが、先生方、学びを共にした友人たち、そして母、皆に励ましてもらいながら乗り越えることができました。臨床心理士になることができたことは、先生方、友人の皆さま、母に、感謝しております。

臨床心理士になってからは、心療内科の心理カウンセラーとして心理カウンセリングや心理検査を担当するようになりました。「心に寄り添い、共に考えていく」ということを大切に自己研鑽に励み、臨床心理学の研修を受け、学び続けました。

現在は結婚して子育てに奮闘していますが、心理学の勉強はとても奥が深く、臨床心理士としての経験を基に学びを深めていきたいと思っています。

こうして私の心の中にも、大学と大学院で学ばせていただいたことは生かされており、私の子どもたちにも受け継いでいきたいです。

同期会の報告

2期同期会

2025年4月4日桜満開の「ザ・プリンス京都宝ヶ池」に於いてシスター・セリーンをお迎えして、34名の方々がU.S.A.から関東から九州からも出席していただき、第59期目の同期会を行いました。現姓と旧姓を併記した名札を作成しました。ピアノ演奏、インタビュー、体操、合唱、プレゼントなど多彩なプログラムで楽しみました。その後は自由懇談で旧交を温め、最後に学歌斉唱で名残を惜しみ閉会といたしました。皆さんの近況をA4、5枚にまとめ資料としてお渡しました。

2期学年委員／南野利江 向井加代子



5期同期会

コロナ終息の気配を感じ、2025年6月1日 ホテルグランヴィア京都にて8年振りとなる同期会を開催致しました。参加者は18人と小規模でしたが、会場の雰囲気はすぐ学生時代に戻り、茶話会を入れた3時間はあっという間に過ぎてゆきました。又、再会出来る日が来ればと願っています。

5期生の皆様へのアンケート結果、
「今後、同期会を存続するか否か」
・存続する19名 ・しない25名 ・どちらでもない15名

3年後の開催に向けてどなたかお世話していただける方がおられましたら、同窓会マリアンハウスまでご連絡下さい。

5期学年委員／西村晶子 池田薫子



6期同期会

春爛漫、桜満開、令和7年4月2日、烏丸御池のイタリアンレストラン ristorante strada で6期生19人の同期会を行いました。

今までにないカジュアルでお洒落なお料理に舌づつみを打ちながら、思い出話に花が咲き、又後期高齢者ならではのエピソードなど楽しいおしゃべりにあつという間に時間が過ぎ、でもまだ話足らず、お隣の進々堂で全員でお茶をしました。

次回同期会ではもっと多くの参加を希望しつつ、又の再会を約束してお別れました。

幹事／原田滋子 中山和子 シャラーしのぶ



同期会開催補助について

同窓会では、同期会を定期的に行い、会員同士の繋がりを深めていただきたいという主旨の元、右の4点の補助を行っております。

名簿の貸出については、「京都ノートルダム女子大学同窓会会員個人情報管理規程」に基づき、学年委員が学年全体の同期会開催案内のための申請のみ受け付け、規程の遵守をお願いしています。

いずれも2年に1回の提供となります。

- ① 学年名簿の貸出（書面）
- ② 案内状発送用の宛名シール提供
- ③ 案内状文面の印刷
- ④ 案内状発送費（上限2万円）

※受け取り希望日の1ヶ月前までに同窓会館マリアンハウスにお申し出ください。

学年委員の方へ

- 5年を上限として交替をお願いいたします。

いろいろな方に同窓会に関わっていただきたい、
任期中に1度は同期会を行っていただきたいという想いより、お願いしております。

支部だより

関東支部

東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木・山梨

支部長
中井祐里(芦田)(27E)
副支部長
豊岡ますみ(須崎)(27C)
会計
齊藤裕美(八木)(27C)
立石万貴(竹中)(27E)
書記
加藤万紀子(乗)(27C)

関東支部では昨年1月より27期5名の役員で活動を行っております。昨年は母校閉校のお知らせがあり、今後の活動内容について考えさせられる場面もありましたが、本部の活動方針に沿って継続していくようにと考えております。

関東支部同窓会は、11月8日(日)渋谷エクセルホテル東急にて開催予定です。たくさんの方々にお目にかかれることを関東支部役員一同楽しみにしております。

追ってご案内させていただきますので今しばらくお待ちください。

かけこみでパンダを見に行ってきました！



中部支部

長野・三重・愛知・静岡・岐阜

支部長
柴原みゆき(29E)
役員
北村真子(北村)(28E)
西海智子(西海)(27C)
2026.2027年度 新役員
支部長・書記
松根裕美(鈴木)(30E)
副支部長
柴原みゆき(29E)
会計
塚田智子(山田)(30E)

本年度は、2年ぶりに私達の学び舎である大学にて同窓会総会を開催しました。予想を超える多くの同窓生が集まり、中村学長、吉田同窓会顧問、本部役員の方々もご参加くださいました。学食にて昼食をともにし、学生の方々にはキャンパスツアーをしていただきました。お世話になったシスターにもお会いすることもでき、懐かしいあの頃に思いを馳せる温かく、楽しいひと時になりました。次回またお会いできるのを楽しみにしています。



地区だより

北海道地区

北海道

地区代表
松本 桜子(41H)
役員
菅井郁子(藤井)(1C)
杉岡亜美(五十嵐)(1E)
安倍瑠美子(平間)(4E)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。先月、21年ぶりとなる1mを超える積雪を記録した札幌では、冬の風物詩「さっぽろ雪まつり」や、94歳を迎えた舞踊家・能藤玲子の新作舞踊公演「神の舌-夢の入り口」の上演等、大雪に負けず賑やかな催しが開催されました。また、昨年6月には11名の北海道在住同窓生に加え、中村学長、北谷会長、北村前会長にもお越しいただき2年ぶりの同窓会を開催、ノートルダム愛に溢れた会となりました。



東北地区

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島

地区代表
町田有希子(鈴木)(28C)
役員
松田みどり(村山)(16E)
室井夢美子(吉田)(25E)

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。この秋から冬にかけて、東北各地ではクマの出没が相次ぎました。山から遠い仙台市内に住む私は、最初は他人事のように感じていましたが、ある日仕事で会議に出席した際、会場の敷地内でクマが出没していたことを夕方のニュースで知り、驚愕！ちなみにすぐ近くには大きな商業施設もある会場でした。

そんな仙台ですが、魅力もいっぱい！ 役員の松田みどりさんがフォトコンテストで優秀賞に輝いた、仙台三大まつりの一つ・青葉まつりの写真を掲載します。毎年5月に開催され、すずめ踊りなどが有名です。皆さんクマが出没しない時期に是非仙台に観光に来てくださいね。



北陸地区

富山・石川・福井・新潟

地区代表
浅香麗子(松崎)(16C)
役員
喜多雅美(長野)(18E)
山内悦子(山内)(18C)
藤本ひさよ(伊関)(25E)
橋本美穂(喜多)(25E)

同窓生の皆様 いかがお過ごしでしょうか。

昨年6月北陸地区同窓会を無事開催する事ができました。当日はお忙しいなか本部より北谷会長様、富山からは大先輩、能登からは震災・豪雨災害を乗り越えて、又福井からはお若い方々に参加頂き、皆様とはLINEで繋がり盛会に終わりました。

なお北陸地区グループLINEご希望の方は、同窓会本部もしくは北陸地区役員までご連絡くださいませ。



和歌山地区

和歌山

新地区代表
稲家裕子(服部)(23C)
新役員
野口雅美(中塚)(27E)

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
昨年は母校閉学のニュースに驚き、大変悲しい思いをしました。しかし私達はND女子大が大好き!卒業生としての誇りを持っています。今こそ、絆を深め皆様と繋がりを大切にしていきたいと思えます。
さて、令和7年4月役員会を6名で開催いたしました。地区会開催・役員交代について話し合い、その後、楽しいおしゃべりに花が咲きました。今後も皆様のご協力のもと和歌山地区の交流を活発にしていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。「徳川御三家の一つ紀州藩の居城 和歌山城」



山陽地区

岡山・広島・山口

新地区代表
平田弘美(加藤)(23C)
新役員
小原悦子(定廣)(22C)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。
山陽地区では6月に山口グランドホテルにて地区同窓会を開催いたしました。北谷会長、堀野副会長にご出席いただき12名が集まりました。大学時代の話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。母校の閉校はさみしい限りですが、大学を通してのご縁がささやかでも繋がっていくことを願ってやみません。
次回は岡山にて皆様にお会いできることを楽しみにしております。どうぞお身体ご自愛いただき元気にお過ごし下さい。



山陰地区

鳥取・島根

地区代表
寺方弘美(小新堂)(14E)
役員
豊田和子(16E)
上村雅子(福田)(19E)
星野紀子(徳田)(20E)

皆さま、お変わりございませんでしょうか。
令和7年10月31日金曜日、鳥取県倉吉市のホテルセントパルスにて昼食会、その後リニューアルしました鳥取県立美術館へと場所を移し、皆様と日本画～The花鳥画～を鑑賞致しました。
また、美術館隣りのバルコスカフェでは昔話に花が咲き、楽しく過ごす事が出来ました。
山陰地区は1年おきに同窓会を開催しておりますので、今年はこちらへはごいません。来年に開催致しますので、皆様、ご参加の程よろしくお願いいたします。



四国地区

徳島・香川・愛媛・高知

地区代表
立本真理(竹下)(21C)
役員
湯浅和代(川村)(6E)
門田さつき(津田)(9E)
入交美和子(入交)(20E)
杉村彩(北出)(25E)
山本留美(松下)(25E)
米田桂子(奥田)(25E)

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。
四国地区は前回の高松開催から早2年が経とうとしています。今年は10月頃に、愛媛県松山市での地区会を考えております。追ってご案内申し上げますので県内外からのご参加をお待ちしております。
桂浜の龍馬像は年に何度か龍馬に大接近として特設展望台から太平洋を望めます。



九州・沖縄地区

福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

地区代表
梶原敬子(石川)(41E)
役員
松野享子(木下)(21E)

同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。
社会の動きや大学を取り巻く環境にも、時代の移ろいを感じる今、あらためて「つながり」の尊さを思います。こうして同窓会が温かい場としてつながっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。
変化の多い時代だからこそ、同窓生の存在を励みに、ノートルダムで学んだ思いやりや調和を大切にしながら、次の世代へと想いをつないでいけたらと思います。



佐賀県有田町・龍門ダムの景色

支部・地区同窓会開催の補助について

同窓会では、支部地区同窓会を定期的に行い、支部地区会員同士の繋がりを深めていただきたいという主旨の元、以下の補助を行っております。
名簿の提供については、「京都ノートルダム女子大学同窓会会員個人情報管理規程」に基づき、支部長および地区代表からの申請のみ受け付け、規程の遵守をお願いしています。

支部

同窓会では、支部同窓会開催費用を含む活動費として年間15万円の補助を行っております。支部会員名簿(書面)については、毎年貸出いたします。

地区

- ①は毎年、②からは2年に1回(要:本部役員会承認)、いずれも申請者は地区代表に限ります。
- ① 地区会員名簿(書面)の貸出
- ② 案内状発送用の宛名シール提供・案内状文面の印刷
- ③ 案内状発送費(実費)
- ④ イベントにかかる費用
- ⑤ 大学教職員の出席がある場合、出席者全員の会費

※受け取り希望日の1ヶ月前までに
同窓会館マリアンハウスへの申し出が必要となります。

アクティビティーのご案内

NDおあしす京都 【講師】 シスター セリーン 松本	生きる源を聖書に求めませんか？ 使徒言行録を読んで気楽におしゃべりできる『場』 です。	同窓会館マリアンハウス 第3金曜日 10:30～12:00	岡森靖子(11C) 林いく子(4E)
---	---	-------------------------------------	-----------------------

クラス	内 容	場所・日時	責任者
英会話 【講師】 リンダ・クラウフォード	身近なニュースや京都の寺社仏閣の話など、毎回 アメリカ人のLinda先生に日本の良さを教えても らえる楽しいクラスです。	同窓会館マリアンハウス 月2回 月曜日 10:30～12:30 学期の初めにスケジュールをお知らせします。	遠塚谷圭子(15E) 浦章代(27E)
マリアンコーラス 【講師】 東 朝子	現在、概ね10名程で活動しています。毎回、スト レッチ、発声練習の後、聖歌や日本の歌、世界の歌 の中から季節に見合った曲を2部又は3部で ハーモニーを楽しんでいます。	同窓会館マリアンハウス 原則 第1水曜日 10:00～12:00	岩田真理子(12C) 堀田佳津恵(12E)
英語で書こう会 【講師】 シスター セリーン 松本	物語を少しずつ訳して行くなかで、英語の発想で 英文を作るコツを身につけます。また物語以外 に、知っておきたい日常表現を学びます。	同窓会館マリアンハウス 第4金曜日 10:30～12:00	池淵律子(6C) 宮澤紀恵(19E)
ヨガ 【講師】 新井千春	呼吸は無意識から意識的、体は緊張から弛緩状 態へ。自律神経を整え免疫力アップとなります。	同窓会館マリアンハウス 月1回から2回 金曜日 12:30～14:00 学期の初めにスケジュールをお知らせします。 (別途 講師料500円程)	多田陽子(15E) 中川晴美(24E)

※各クラス受講料は1回1,000円。

※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

サークル	内 容	場所・日時	責任者
英語で書こう会 【講師】 シスター セリーン 松本	日本語の発想から英語の発想へ。 書くことによって少しでも身に付けられたら。 (参加費：1回/2,000円)	同窓会館マリアンハウス 第3水曜日 10:30～12:00	林満智子(3E) 池淵律子(6C)
長唄三味線 【講師】 稀音家六三土里	個人またはお2人のレッスン。初めての方も見学 の方も歓迎いたします。当派はドレミ譜です。発 表の機会もあり楽しいです。 「縦の譜面」を読み、「横の弦」を弾く。演奏を楽し みながら、自然と脳トレができます。 三味線持参不要。(参加費1回2,000円)	同窓会館マリアンハウス和室他 隔週程度の月曜日か水曜日 お稽古の日時は 前月にお知らせします。	寺西みどり(13E)
映画を観よう会 【講師】 須川いづみ	1930年代の米国の女性映画をご一緒に楽しみま せんか？	マリアンハウス 隔月第1月曜日 2026年度 6/1, 10/5, 12/7, 2/1 10:30～13:00	須川いづみ(13E) 北谷貴代子(23C)

手芸ボランティア

活動日：2026年5月20日(木)・6月22日(月) 以降の活動は、マリアンハウスにお問い合わせください。
 いずれも10:30よりマリアンハウス和室で行います。手芸のお好きな方、お気軽にお越しください。

2026年度(令和8年度)同窓会館マリアンハウス文化プログラムのご案内

2026年
9月30日(水)
10:30~12:30

コンディショニングヨガ

ヨガ、ピラティス、ダンスエクササイズ
を組み合わせた指導を展開
新井千春先生

無意識の呼吸を、意識的な呼吸に変え、深い呼吸へと導きます。
それにより緊張感を取り深層筋を活性化させ骨や関節を動か
していきます。
ゆっくり動くことで関節を動かすことを認識していきます。

2026年
11月25日(水)
10:30~12:30

クリスマスのテーブルを飾る

オーダーだけの花屋リーリエ
デザイナー
杉本百合子先生(26E)

クリスマスシーズンに彩りを添えるアレンジメントを作りましょう。
スポンジに数種類の針葉樹に赤い木の実やスパイス、オーナメン
トなどを飾ります。スポンジに水を補充することで長持ちします。
キャンドルをさせばクリスマスのテーブルを華やかにしてくれます
丸い形か細長い形かをお選びいただけます。

マリアンハウスチャリティーバザー

寄贈品のご協力をお願いします
詳細は、後日ホームページでお知らせいたします。

2026年
10月25日(日)
10:30~14:30

2027年
3月24日(水)
10:30~12:30

「美しくあるために」
セルフメンテナンス(養生)を学ぶ

漢方上級スタイリスト/薬膳アドバイザー
養生茶「irodori」プロデューサー
亀田利三郎薬舗 亀田 彩子先生

健康的な美しさを目指して、季節ごとの養生茶の選
び方を。そして美味しい「八宝茶」の体験もご用意し
ております。
“漢方養生でHappy Life”をテーマに、香りと味わい
から整える暮らしを提案。
セミナーやホテルイベントでもご活動中です。



- 文化プログラムのご提案・ご紹介いただける先生がおられましたらご一報ください。
- 諸般の事情により日程時間等の変更があります。
- 文化プログラムは同窓生・在校生の他、ご紹介があればどなたでもご参加いただけます。(在校生・同窓生以外は別途500円の会館使用料を頂戴いたします。)

日本文化研究会 お世話役募集中

日本文化研究会は主に日本文化にふれる目的で文化財を訪ね
ます。しかしながら現在、世話役の方がおられず、残念なことに休
会となっており、活動再開に向けて世話役の方を募集しておりま

す。ご応募をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。
活動が再開いたしましたら、会報やホームページでお知らせいた
します。

2026年度(令和8年)第62回同窓会総会のご案内

今年の総会テーマ

「私とノートルダム」

学生時代を過ごした思い出の地で、それぞれの「ノートルダムとの出会い」「ノートルダムとの関わり」を沁々と語り合いましょう。

お申し込みは
こちらから



1期から5期の皆様は、
同封の返信用ハガキも
ご利用いただけます。



当日は、大学図書館を特別開館いたします。
蔵書は学外からもネット検索ができます。

日時 2026年6月14日(日)
10:30 受付・開場
11:00 開始
15:00 終了

場所 受付・総会 NDホール(3階)
懇親会 食堂(1階)

いずれも京都ノートルダム女子大学内
ユージニア館

会費 5,000円
当日、受付で頂戴します。

締切 6月8日(月)
6月12日以降のキャンセルは
会費実費を頂戴します。

同窓会活動情報は同窓会ホームページで!

http://www.notredame.ac.jp/m_house/

同窓会の行事や、大学からの案内の他、
同窓会会員の仕事やお店などを紹介する頁もあります。
読み物などもございますので、どうぞ楽しんでご覧ください。



同窓会ホームページ
QRコード

お願い：氏名や住所など変更があった場合は、速やかに同窓会館マリアンハウスまでお知らせください。

物故者追悼ミサのご案内

大学では、11月死者の月に「物故者追悼ミサ」が行われます。同窓会では、ご家族や同期生の皆さまより、同窓生ご帰天のご連絡をいただきましたら、ご家族のご了解のもと、このミサのために大学に連絡をいたします。ミサでは、同窓生帰天者の卒業アルバムの写真を大きく引き伸ばし、お名前と共に飾ってくださり、神父様司式のも

と皆でお祈りをさせていただきます。

こちらのミサには、帰天者のゆかりの方々どなたでもご参列いただけます。互いにご連絡していただき、ご参列ください。

「物故者追悼ミサ」の日程は同窓会館マリアンハウスにお問い合わせください。

編集後記

昨春の2026年度学生募集停止発表に驚きと胸を締め付けられる思いに苛まれる日々を過ごして参りました。しかしながら悲しんでばかりいても何も生まれません。同窓会本部は今まで通り以上に元気にならねばと役員一同互いに助け合って頑張っています。

会報は一年に一度同窓生の皆様への活動報告です。同窓会の今は是非知っていただきたい思いで56号をお届けいたします。

最後になりましたが、会報56号発行に際し大学関係者、諸先生方、同窓会員の皆様にご多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。

北村孝子(7E) 山田多恵(24E)

京都ノートルダム女子大学 同窓会会報 マリアン Vol.56

京都ノートルダム女子大学同窓会 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地
京都ノートルダム女子大学内 キャロライン館1階 同窓会館マリアンハウス
TEL & FAX / 075-701-9149 E-mail / nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

表紙題字 / シスター セリーン 松本
Damuttie ©Moka Onmae
2026年5月11日発行

- 会員数 約1万7千名
- 支部 関東/中部
- 地区 北海道/東北/北陸/和歌山/四国/山陽/山陰/九州・沖縄